

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社日立製作所		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	
本票作成	部署名：株式会社日立製作所 システム&サービス部 統括本部 環境推進本部 環境整備センター				
主たる業種	分類コード	29	業種名：電気機械器具製造業		
事業の概要	岡山地区の営業活動及び情報処理サービス業 在館人数：360人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日立システムプラザ岡山			
	②	金融システム事業部		岡山県岡山市北区柳町1-1-1	
	③	中国支社 岡山支店		岡山県岡山市北区下石井1丁目1-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	16,816 t CO ₂	18,956 t CO ₂	20,595 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	日立システムプラザ岡山	18,556 t CO ₂
	②	金融システム事業部	343 t CO ₂
	③	中国支社 岡山支店	53 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 12.7 %	△22.5 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

①日立システムプラザ岡山
 (i)クラウド事業拡大を継続しており、使用電力量(温室効果ガス)は増加傾向にある。空調機の温度設定変更及びエアフローの改善により空調効率の向上策を継続中。さらに空調設備を旧機種から省エネ型の最新機に順次更新中。(ii)省エネ法に基づき、業務用機器電力の比(原単位)を、平成26年度比で3.9%削減(平成29年度)した。
 ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
 ・テナントとしてビルオーナーの省エネ施策に協力。

【推進体制】

- ①日立システムプラザ岡山
 ・ISO14001認証取得の一部門として環境マネジメントの運用体制を構築し、推進責任者をトップとして、省エネ等の継続的な環境改善活動を実施。
 ・省エネ法に基づきエネルギー管理体制を構築、エネルギー使用(削減)状況をモニタリング。
- ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
 ・株式会社日立製作所の全社活動として、エコマインド教育を全員が受講し、環境配慮の業務(省エネ・省資源等)の実施、環境配慮型の製品及びサービスを顧客に提供するスキルの向上を図った。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①日立システムプラザ岡山	(平成29年度実施) 1. 空調機の稼働台数削減及び設定温度変更 2. マシン室のエアフローの分析と流路調整による空調の最適化 3. エコマインド教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持 4. 照明灯のLED化 (CO2削減量更新前の44%削減) 5. 旧型空調機を高効率型空調機へ更新 (CO2削減量更新前の15%削減) 6. 空調室外機への太陽光を遮蔽し機器温度上昇を抑制 (CO2削減量3%削減) (今後実施予定) 1. 照明設備のLED化継続 2. 空調機を高効率機へ更新継続
②金融システム事業部 ③中国支社岡山支店	(平成29年度実施) 1. 空調機の稼働台数削減(空調機の交互運転等)及び設定温度変更 2. カーテン/ブラインドの細かな開閉管理 (窓部からの赤外線遮熱、放熱抑制等) 3. エコマインド教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持 4. 働き方改革による全員定時退勤の実施 (週1回程度) 5. ビルテナントオーナー、ビルサービス/管理会社の実施する省エネ施策への協力 (今後実施予定) 1. 上記施策の継続的实施 (ビルテナントとして出来ることを実施)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の保有地 (岡山リサーチパーク) 内に森林 (広葉樹林) を保有し、保全・維持。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の敷地内に、電源自立型(ソーラーパネル付)屋外灯を設置し、維持(2箇所)。
その他	無	

【その他特記事項】

- (1) 日立システムプラザ岡山では、ISO14001の認証継続のための事業活動として、環境負荷低減を目標とした活動計画の立案とその実施を行ない、消費エネルギー原単位での削減を含めた各目標を達成した。平成30年5月に株式会社日本環境認証機構殿によるISO14001の認証サーベイランス審査(第三者審査)を受けて、平成29年度の活動実績を認められた。
- (2) 新規事業所(金融システムサービス第一センタ)を平成29年9月に開設:温室効果ガス排出量:4tCO2
 ※平成29年度の排出量に算入済み(番号①~③の排出量の合計18,952tCO2+4tCO2とした)
 以上